



女子バレー九州大会出場

知念高校女子バレーボール部は、顧問の平良正和先生の指導の下、日々たゆまぬ練習を重ね、県内でも安定して上位に名を連ねる強豪校として成長を続けています。



4月20日(日)に豊見城市民体育館で開催された平安杯第71回全九州総合選手権大会県予選の決勝リーグでは、ノーシードという厳しい状況からのスタートとなりました。しかし、持ち前の粘り強さとチームワークでシード3校を次々と破り、見事3位入賞を果たし、九州大会出場の切符を手に入れました。

九州大会では、予選グループ戦において第2シードの福岡女学院(福岡)や、同校を破って3位に入った聖和女子学院(長崎)と対戦しました。惜しくも勝利には至りませんでした。強豪校と対戦した経験は、5月30日(土)から始まる県総体に向けて大きな糧となりました。

今後のさらなる飛躍と活躍を大いに期待します。
頑張れ知念高校女子バレー部!

授業参観・PTA総会

授業参観終了後には、視聴覚室においてPTA総会が開催されました。令和7年度および8年度の事業計画・予算、決算の報告並びに審議が行われたほか、役員改選の年にあたり、金城会長の後任として新崎新会長が選出されました。平日の午後にもかかわらず、多くの保護者の皆様に参加され、その熱意からは、知念高校を支え、応援してください。その強い思いが伝わってきました。地域と保護者の皆様の知念高校への深い愛情を、改めて実感する機会となりました。渉外担当の新任先生をはじめ教務部の先生方、そしてPTA事務の皆様、本当にお疲れ様でした。



大型連休の谷間となった5月7日(木)、令和8年度の授業参観が行われました。当日は、前日までの天候不良が嘘のような快晴に恵まれ、保護者の皆様が新年度を迎えた我が子のクラスの様子を、熱心に参観されていました。



令和8年度生徒総会



奇しくも当日は沖縄の復帰記念日、世の中を変えることができる主権者意識について考える良い機会となりました。

生徒一人ひとりの生徒会活動への参加意識を高め、自治と民主主義社会を学ぶ機会を設けることにより、高校生活の一層の充実を図ることを目的に、5月15日(金)に令和8年度知念高校生徒総会が開催されました。水口愛琉さん(与那原中)の生徒会執行部のあいさつのもと、第1号議案から第7号議案まで、全生徒により審議が行われました。特に第7号議案については、自分たちで改善したい議題として、スマホ指導や授業中の居眠り、遅刻の改善、学校への要望として、トイレの洋式化や自販機の減額、冷水機の整備や電子決済に係るスマホ使用、熱中症予防としてのノーネクタイなど、知念生一人ひとりが真剣に学校生活について考えていることがうかがえる内容でした。

県高校総体推戴式

高校生の体育系部活動の総決算である「沖縄県高等学校総合体育大会」の推戴式が、5月15日(金)に体育館で行われました。今年、知念高校から17競技、251名の選手団が参加します。



式では、2年生の吉田希穂さん(佐敷中)、城間芭南さん(与那原中)、島袋美綾さん(佐敷中)、上原凜子さん(佐敷中)の司会のもと、野原徹人さん(南星中)と樋園悠真さん(与那原中)による校訓斉唱、校長による激励のことは、各部の決意表明、そして野球部による生徒代表激励が行われ、大いに盛り上がりました。

令和8年度の県高校総体は、先行開催の水球競技を皮切りに、5月22日(金)の総合開会式から県内各地で開催されます。部活動生はもちろんのこと、できる限り多くの生徒・職員の応援を期待しています。頑張れ、知念生!

